

学校法人藤村学園 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学  
図書館報  
2023秋号 No.38

## おすすめ図書紹介

### コーヒーが冷めないうちに

過去に戻れるなら貴方はなにをしますか？

ある喫茶店のある席に座ると、望んだ過去に戻れるという噂。戻るのはコーヒーが注がれてから冷めるまでの僅かな時間のみ。ただ過去に戻って行動したとしても、現在となる未来が変わるわけではない。

後悔している事は誰しも必ずあるはずです。いくら悔やんでも戻れないのが現実の世界であり、だからこそ後悔のない選択を常にしなければなりません。非現実的な物語ですが、自分の素直な気持ちを伝える大切さや、身近な人への愛を再認識し、自分の生き方を見直す機会になります。

恋人、夫婦、姉妹、親子など様々な人間関係が交差し合い、心温まります。過去に戻った人達の心境の変化をポイントに是非読んでみてください。

コーヒーが冷めないうちに  
川口 俊和 著  
サンマーク出版

体育学部3年 早田 京香



### エレガントな毒の吐き方

上司、身内、ママ友…厄介なことに巻き込まれてしまったら面倒だから、本当は言い返したいけど、この関係が壊れてしまったら…と考えると言いたいことが言えず終わる。これから、社会人として様々な人の出会いがあるが、相手も自分も傷つかないように意思、考えを伝えるためにはどのようにしたらいいのか。自分が我慢すればそれでいいのか。そんなことを考えたときに、この作品に出会いました。

この作品では、「上手に言葉を使い、自分も相手も大切にして、エレガントに毒を吐く」を念頭に、言葉選びをするための手引きになっていきます。コロナ禍を経て、リアルで人と接することが増えていく中、オンライン感覚で話しているのかどうにも疇み合わないもどかしさを感じることが増えたように感じます。上手くコミュニケーションをとるために、今の時代は、エレガントに物事を伝えられるようになるとお互いに気持ちのいい関係を築けるのではないかでしょうか。

体育学部4年 若葉 梨紗



エレガントな毒の吐き方  
中野 信子 著  
日経BP

## 変な絵

女の子が書いた絵はなんの意味があるのだろうか。私はこの本を読み進めていくうちに次々と衝撃を受けました。人の心理状態を探るために「描画テスト」というものがあります。この物語は、ある事件を起こした11歳の女の子が描画テストを行った際に、書かれた絵から奇妙な点を解説していくところから始まります。また、4章に分かれています。それぞれの絵から事件の謎を解きほぐしていく快感が我を忘れるほど夢中にさせてくれる物語です。

本学では子供の心理に関わる授業があります。その授業で学んだ絵のテストなどが物語に出てくるところも読んでいて面白かったです。この本の作者の雨穴さんは他に『変な家』という本も書いています。ぜひ図書館に来て読んでください!!



変な絵  
雨穴 著  
双葉社

保健体育学科2年 中村 咲希

## 開館カレンダー

状況により、変更する場合があります。

9:00~13:00	9:00~14:00	9:00~16:00	9:00~17:00
9:00~19:00	9:00~20:00	終日閉館	未定

2023年 10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2023年 12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2024年 2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2024年 3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

編集・発行：東京女子体育大学・東京女子体育短期大学  
図書館運営委員会  
東京都国立市富士見台4-30-1 TEL.042-572-4131

"Strike while the iron is hot." (鉄は熱いうちに打て) とは、イギリスの英語の諺（ことわざ）で、日本には江戸時代後期に編纂された蘭和辞典（オランダ語辞典）である『和蘭字彙』によって伝えられたと言われています。

字義としては、鉄は熱してやわらかいうちに打ついろいろな形でできることから、「人間も若く柔軟性のあるうちに鍛えることが大事」だと、人生において最も柔軟性のある好期を逃すな」という意味になります。

そんな、最も柔軟性のある時期である学生時代という好期を逃さずに、みなさんも教員の推薦する「学生時代に読んでほしい一冊」や、他の学生が紹介する「おすすめ図書紹介」を通じて、是非とも自分自身を鍛えてみませんか？

図書館運営委員 古川 和人



# 早春スケッチブック



早春スケッチブック  
山田 太一著  
新潮社

私は大学時代、音楽大学でホルンという金管楽器を学んでいました。私自身、大学に入学したときは、オーケストラなどで楽器の演奏をすることを生涯の仕事としたいと夢を見していました。しかし、大学1年の冬頃、調子を崩し、思うような演奏どころか、楽器に息を入れても音すら出ないくらいの不調に陥りました。その不調からどうにか脱するために、医療も含めいろいろな努力をしましたが思うよう

改善は見られず、次第にあきらめの気持ちが大きくなり、何かに挑戦することもなく、ただ漫然と過ごす毎日でした。何か自分を変えたいと思いつつ、きっかけを求めていた時に出会ったのがこの本です。

日頃、楽器の練習ばかりで本を読む習慣などなかった私でも、主人公の「ありきたりに生きるな」という強烈なセリフが私の中の何かを変えたような気がしています。この本は、かなり前にはなりますが、ドラマ化もされていたようです。あまり構えずに、大学生の今だからこそ読んでみてはいかがでしょう。

道徳研究室 太田 元

## なるほどの対話

### 世代を超えて聴く

平成時代の教科書や問題集には、河合隼雄と吉本ばなの作品がよく選ばれています。その二人の対談集です。

昭和の思想家として有名な父をもつばな氏は、当時、若手作家として高い評価を得ていましたが、子ども時代から生きづらさを抱え、学校でも異端児でした。その思いを、元数学教師で心理学者の河合氏に語っています。

また、家族の問題やジェンダー、日本人の死生観について、ばな氏が素朴な質問を投げかけると、その分野に深い見識のある河合氏が、偉ぶることなく平易な言葉で解説していきます。

令和の時代は、コロナ禍を経て対話の作法を忘れた人が増えています。平板な自己主張を一方的に叫んでも、残念ながらそれは騒音でしかなく、人の心には届きません。

読書は作家や作品との対話です。時空を超えて、故人とも対話ができます。初版の単行本は平成14年です。皆さんに誕生した頃の対話に参加して「鼎談(ていだん=三人で会談すること)」を体験してみて下さい。

特別活動研究室 小西 悅子



なるほどの対話  
河合 隼雄・吉本ばなな著  
新潮文庫

## 学生時代に 読んでほしい一冊

## 理科系の作文技術

私が学生時代に読んでほしい一冊として取り上げるのは、木下是雄による『理科系の作文技術』です。本書は、11章(1.序章, 2.準備作業, 3.文章の組立て, 4.パラグラフ, 5.文の構造と文章の流れ, 6.はっきり言い切る姿勢, 7.事実と意見, 8.わかりやすく簡潔な表現, 9.執筆メモ, 10.手紙・説明文・原著論文, 11.学会公演の要領), 全244ページから構成されています。

著者は、本書の中で、「事実と意見を区別すること」と、「明快で簡潔な文章を目指すこと」を繰り返し指摘しています。これらの点は、本書が想定している読者(理科系の研究者・学生)のみならず、誰

## 新編 教えるということ

### 教師を志す人に

「一生懸命指導しましたけれど、お宅のお子さん、どうもうまくおできになりません」

教師は、自分の失敗を相手の責任にできる職業と手厳しい。また、「やってごらん」「できたか」は教室で禁句。そんなことはだれでも言える。教師はそんなにやさしいことをして、樂をしていては困るとも。

「子どもが大好き」「優しくて親切」「一生懸命」「あたたかな心」、教師になる人だったら、誇りにもならなければ、長所でもない。当たり前に出勤したと同じこと。教師は専門家だから、やっぱり生徒に力をつけなければだめだと強く語っている。

また、『「劣」に重みをかけすぎ、「優」を忘れていないか』と「できない子」だけでなく「できる子」も含め、全ての生徒が成長する魅力ある教室を目指した。50年前に「単元學習」という形で「個別最適な学び」を追求した実践者でもある。

教師を志す人にぜひ読んでもらいたい一冊。昭和の52年間、中学や高校の教壇に立ち続けた国語教師の4本の講演の記録。

国語研究室 渋谷 正宏



新編 教えるということ  
大村 はま著  
筑摩書房

にでも求められているスキルです。もちろん、本書を読んだからといって、すぐにそのような文章を書けるとは限りませんが、意識的に文章を書き続けることによって、身につけることができるかもしれません。

本学では「卒業研究」が必修となっているゼミもありますので、卒業研究に取り組む前に一読してみてはいかがでしょうか。

体育科教育研究室 梶 将徳



理科系の作文技術  
木下 是雄著  
中央公論新社